

みずほCustomer Desk Report 2021/12/17号(As of 2021/12/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	114.17 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.14	1.1290	128.86	1.3255	0.7167
SYD-NY High	114.25	1.1360	129.60	1.3375	0.7224
SYD-NY Low	113.56	1.1282	128.48	1.3243	0.7146
NY 5:00 PM	113.71	1.1331	128.85	1.3323	0.7183

NY DOW	35,897.64	▲ 29.79	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	15,180.44	▲ 385.15	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	4,668.67	▲ 41.18	米国2年債	0.6159	▲ 4.82bp
日経平均	29,066.32	606.60	米国5年債	1.1743	▲ 7.00bp
TOPIX	2,013.08	28.98	米国10年債	1.4233	▲ 3.41bp
シカゴ日経先物	28,810.00	▲ 115.00	独10年債	-0.3480	1.80bp
ロンドンFT	7,260.61	89.86	英10年債	0.7545	1.85bp
DAX	15,636.40	160.05	豪10年債	1.6000	1.20bp
ハンセン指数	23,475.50	54.74	USDJPY 1M Vol	5.58	▲ 0.65%
上海総合	3,675.02	27.39	USDJPY 3M Vol	6.23	▲ 0.30%
NY金	1,798.20	33.70	USDJPY 6M Vol	6.48	▲ 0.25%
WTI	72.38	1.51	USDJPY 1M 25RR	-0.62	Yen Call Over
CRB指数	227.239	3.42	EURJPY 3M Vol	6.63	▲ 0.32%
ドルインデックス	96.04	▲ 0.47	EURJPY 6M Vol	7.12	▲ 0.27%

東京	東京時間のドル円は114.14レベルでスタート。前日のFOMCが概ね予想通りの結果となったことで安心感が広がり、日経平均株価が高く寄り付く中ドル円は114.25まで上昇。しかし前日の高値を上抜けられずその後は小動きにとどまり、結局114.19レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.19レベルでオープン。ドル円は小動きで同水準の114.18レベルでNYに渡った。一方で英中銀が予想外に0.15%利上げをしたこと、およびECBが金利据置きものの3月のPEPP終了後のAPP増額期間を予想よりも短く設定したことから、ポンド円やユーロ円はそれぞれ152円台、129円台へ上昇した。
ニューヨーク	前日約3週間ぶりの114円台回復を見せたドル円は、本日の海外時間でも日経平均株価の堅調推移を受けて114円台前半でしっかり。早朝にはBOEのサプライズ利上げやECBの金利据え置きが伝わるもドル円は特段反応せず、114.18レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数や12月フィラデルフィア連銀景況指数が予想以上に悪化するも、米失業保険継続受給者や米11月住宅着工件数は予想以上に改善しており、強弱まちまちの結果だったためか、ドル円は反応薄。その後、「米国が生体情報を使った監視に関与した中国研究施設に制裁」との報道が嫌気され、リスクオフの円買いが先行し、114円を割り込んだ。米金利の低下やナスダックの下げ幅拡大もあいまって、一時113.56まで下落。一巡後、113.77まで反発するが、米金利の戻りが鈍い中、再び113.60付近まで押し戻された。午後は安値圏でもみ合い。終盤も材料難で動意乏しくなり、結局、113.71レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは中銀イベントを控える中、1.1300手前の狭いレンジでの推移でスタート。その後、リスクオンで上昇するユーロ円につれて1.1320付近まで上昇するも、一巡後、1.1290付近まで反落。早朝にはBOEのサプライズ利上げを受けて上昇したポンドドルに連れ高となり、そしてその後のECB理事会で政策金利の据え置きやPEPPの来年3月末終了が伝わりユーロの買い戻しが更に加速し、1.1343まで上昇して1.1328レベルでNYオープン。朝方はラガルドECB総裁の記者会見が行われる中、高値の1.1360をつけるも、前述のヘッドラインを受けて下落したユーロ円が重しとなり、1.1299まで反落。午後は米金利が伸び悩む中、ユーロはじりじりと買い戻された。終盤に1.1336まで上昇し、結局、1.1331レベルでクローズ。

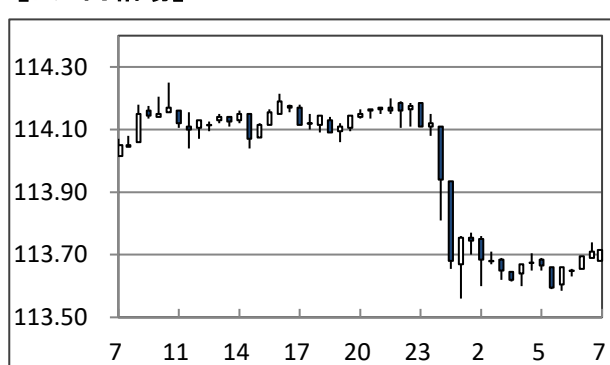
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月16日	09:30	豪雇用者数変化/失業率	11月 366.1k/4.6%	200.0k/5.0%
	17:30	独マーケットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 57.9/48.4/50.0	56.9/51.0/51.1
	21:00	英イングランド銀行政策金利	16-Dec 0.25%	0.10%
	21:45	欧ECB主要政策金利/ECB預金ファシリティレート	16-Dec 0.0%/-0.5%	0.0%/-0.5%
	22:30	米新規失業保険申請件数	11-Dec 206k	200k
	22:30	米住宅着工件数/建設許可件数	11月 1679k/1712k	1567k/1661k
	22:30	米フィラデルフィア連銀景況	12月 15.4	29.1
	23:15	米鉱工業生産(前月比)	11月 0.5%	0.6%
	23:45	米マーケット製造業PMI(製造業/サービス業/コンポジット)	12月 57.8/57.5/56.9	58.5/58.8/-

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月17日	-	日銀政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.10%
	16:00	英小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	11月 0.8%/2.3%	1.6%/-1.9%
	16:00	独PPI(前月比/前年比)	11月 1.4%/20.0%	3.8%/18.4%
	19:00	欧CPI(前月比/前年比)・確報	11月 0.5%/4.9%	0.5%/4.9%

【ドル円相場】



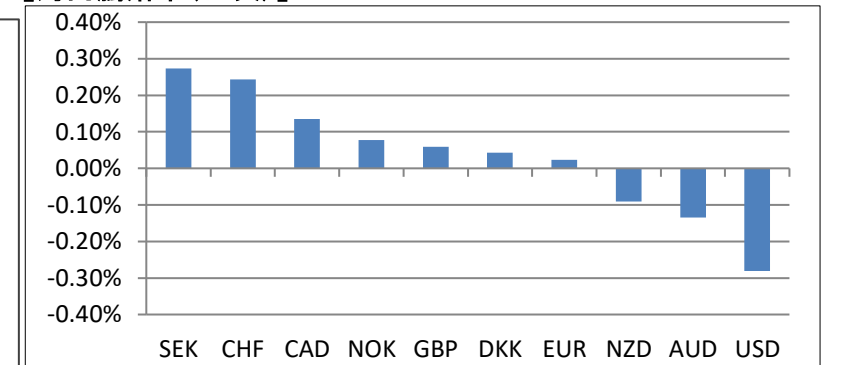
【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.40-114.40	1.1260-1.1360	128.20-129.50

【マーケットインプレッション】

昨日はBOE、ECBと注目イベント続いたもののドル円の反応は限定的。その後米中関係悪化が懸念されるヘッドラインを受けドル円は113.56まで下落する展開となった。本日のドル円は底堅い動きを予想する。本日日銀の金融政策決定会合があるが、政策据え置きが予想されており影響は限定的だろう。主要イベントを終え年末ムードが強まる中、ドル円は値動きが出づらくなるとされる。ただFRB、BOEとタカ派でECBはハト派ではあったもののPEPPを終了ということもあり、相対的に円の弱さが意識されそう。昨日は米国がウイグル族弾圧を行ったとして中国の研究施設に制裁との報道で下落したものの、イベント通過によるポジション調整的な動きもあったと思われ、一時的な下落と考える。ドル円は円安に推移すると予想する。

【対円騰落率(日次)】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 玉井・木村